

NEWS

8  
vol.42



お花見園遊会より  
四恩園特製「春の祭り弁当」  
(関連記事6頁)

- 発行者 北広島リハビリセンター 特養部四恩園
- 住 所 〒061-1153 北広島市富ヶ岡509-31
- T E L (011)373-6655
- F A X (011)373-6611
- ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
- E-mail [tokuyo@shionen.or.jp](mailto:tokuyo@shionen.or.jp)
- 編集発行 広報委員会
- 編集発行責任者 三瓶 徹

## 被災者支援、今私たちにできることは

### 「宮城県仙台市 楽生園へ派遣」

五月一日～十二日まで、宮城県仙台市にある特別養護老人ホーム・樂生園で受入をされていました。私が担当させて頂いたのは、津波被害で家を失った南三陸町出身の二名と仙台市内の自宅が崩壊の恐れがあるとの事で避難されていた一名の計三名である。三名とも八十年代の女性であった。

派遣当初は三名共表情が乏しく、活動意欲もあまり感じられない状況であった。三人に関わる派遣者同士で試行錯誤しコミュニケーションを実施。次第に三人それぞれが自己を主張して下さる様になり、互いの距離が縮まっていったように感じる。

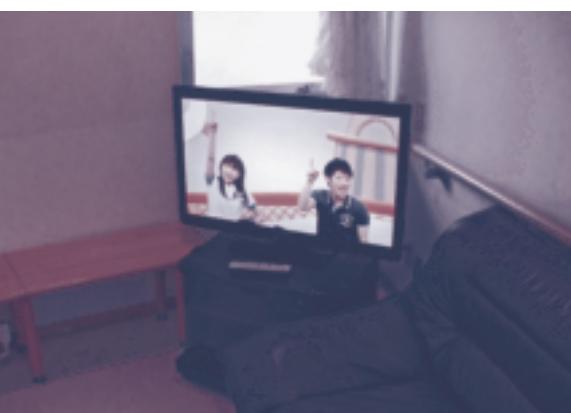
支援期間が終わりに近づくにつれ、三名の表情が徐々に曇り始めた。『まだ帰らないで欲しい』『慣れた人についてもらいたい』『ずっとここに居て欲しい』…彼女達にとって、再び『失う』という経験を、派遣者が去る度にさせてしまう辛さを感じる事もあった。被災者に対し派遣者全員が介護福祉士の専門性の下、揺るぎない想いを引き継ぎながら支援を実施していかねばならないと痛感した。

このたび『四季の会』開設十五周年事業として、家族会よりテレビ一台を寄贈して頂きました。二階食堂に一台、南談話室へ一台設置しています。

記念事業を検討していく中

### 皆様の くつろぎの 時間に

四季の会



談話室に1台

で、五周年で電子ピアノ、十周年では花壇の造成と事業を行ってきて、十五周年でもお客様やご家族皆様が楽しんで頂けるものと考え、七月の地上デジタル放送移行に伴い、テレビ寄贈というかたちになりました。

設置後は、以前よりもテレビをご覧になるお客様が増えてきたように思います。職員やお客様、家族の方々が一緒にテレビを見ながら過ごすことで、今まで以上にたくさんの人とのつながりができるよう、この記念事業のテレビを有効に活用させて頂きたいと思います。



食堂に壁掛けテレビ



事務所風景

## 北広島市みなみ高齢者支援センター

みなみ高齢者支援センターは

四月一日に「北広島団地地域交流ホームふれて」に引越しました。団地地区の中心に活動の場を移したことで、皆様にとって今迄以上に身近な相談窓口になります。また、職員一同努めて参り

ます。

これまで通り、介護保険に関する疑問、困ったこと、不安なことが生じた際は随時相談に応じます。また、電話では「上手く伝えられない……」と思われる方には訪問も致します。更に、

毎週金曜日の午後はセンターに職員が待機しておりますので、お気軽に来所して頂ければと思います。



今後共宜しくお願い致します。

(みなみ支援センター 高橋)



手段の駆け引き 真剣勝負！



大盛況の友愛バザー会場



## ボランティアふくわら

### 友愛セール

六月十一日エルフィンパーク交流広場で行われた第三十五回友愛セールに、今年も出店させていただきました。食器から折り置き自転車まで幅広い品揃えで、多くのお客様にきていただき、職員も普段とは違った形で地域の方々と触れ合うことができ、充実した時間を過ごすことができました。また、地域の皆

様に支えられていくのだと改めて実感した一日でもあります。友愛セールでの収益は、四恩園を利用されているお客様、ボランティアの方々の活動に使わせていただき、さらには地域の方々へも還元できるよう、有効に活用していくことを思っています。

(ボランティア委員会)

# 北広島団地 地域交流ホームふれて・ディホームかたる

## 「人と人とのつながりから生きることの喜びを知ろう」

みなさんは「共生型」という言葉をご存知でしょうか？

世代や障害の形態を超えたつながりを意味しています。ある高齢者施設では、自分で立つことのできなかった高齢者が子供とのつながりをきっかけに、自分で立ち、歩いて、その子との関わりを深めていくことができるようになったという話があります。

ここ、地域交流ホームふれてでも、喫茶コーナー・キッズコーナー・地域のお茶の間・イベント・ミニ講座などを通じて、子供・子育て世代・高齢者・障害児者などの地域の方々、ふれて市民スタッフが数多く集い、世代間や障害形態を超えた、共生の理念のもと、交流を積極的に行うことで、それぞれの理解と、地域での孤立感を軽減するとともに、お互いを支え合うことのできる、人と人とのつながりづくりの場を目指しています。

ディホームかたるは既存のディサービスとは異なったものに生まれ変わろうとしています。地域交流ホームふれてでは北広島市子育て支援センターあ



コーヒーで一休み



テケテケサウンドでミニライブ



世代間の交流を大切にします



おもわずほほが緩みます

いあいの方々と一緒に「ふれて子供の日」を開催しています。そこにはディホームかたるのお客様も自由に参加され、とても表情豊かに子供やお母さんと世代を超えた交流をしています。また、「地域のお茶の間」という催しでは今まで、百人一首大会や、ステージで手品や太鼓、独唱、オカリナや舞踊、バンドやフルートなどを披露してくださっています。そこにもディホームかたるのお客様は毎回楽しみに参加され、地域の方とつながる場として大変好評となっています。

地域交流ホームふれて併設の喫茶コーナーにも、ディホームかたるのお客様が自由に利用でき、コーヒーや紅茶、クッキーを召し上がりながら思い思いのお話しに花を咲かせています。

このように、地域の方々と密接につながることのできる場として、今後も世代や障害の形態を超え、お互いの支え合いと、人と人とのつながりを大切にしていくことができるサービスを目指しています。

(ディホームかたる 富岡)



特養 おすまし顔でパチリ。  
とっても可愛らしく出来ました



デイ お気に入りの花で  
活けてみました



特養 ひまわりなど夏らしい花を  
活けました



特養 先生に手伝って頂きながら、  
上手に出来るかな？



デイ きれいにできました



特養 お花に負けないくらい美人に  
撮れました



デイ やっぱりお花は素敵です



特養 派手かしら？と照れながらも  
色とりどりに活けました

私たち  
華道クラブ

## ~ミナパピリカ~

特養部

## あふれる笑顔

お天氣にも恵まれた五月二十八日、提灯や紅白横断幕の飾り付けのなか賑やかな雰囲気でお花見園遊会が行われました。吉田正子様の元気な乾杯の音頭で始まった昼食は、たけのこ、ごみ、たらんぼ、ふきなど旬の食材をふんだんに使ったお弁当風のご馳走でした。ふたを開けると「美味しいそう！」との声があちこちであがっていました。そしてスライドショー、カラオケ大会、職員余興では終始笑い声が絶えず、笑顔あふれる宴となりました。



みんな大好きカラオケ大会



家族もたくさん来ました

（表紙はこの日に出された昼食の写真です。）

お天氣にも恵まれた五月二十八日、提灯や紅白横断幕の飾り付けのなか賑やかな雰囲気でお花見園遊会が行われました。吉田正子様の元気な乾杯の音頭で始まった昼食は、たけのこ、ごみ、たらんぼ、ふきなど旬の食材をふんだんに使ったお弁当風のご馳走でした。ふたを開けると「美味しいそう！」との声があちこちであがっていました。そしてスライドショー、カラオケ大会、職員余興では終始笑い声が絶えず、笑顔あふれる宴となりました。

訪問看護

## 楽しくリハビリ



みんなさんのリハビリを担当

（訪問看護 町田

皆さんが住み慣れた地で明るく元気にくらせるよう、今後もお手伝いさせて頂きたいと思っていますので、よろしくお願いします！

皆さんが住み慣れた地で明るく元気にくらせるよう、今後もお手伝いさせて頂きたいと思っていますので、よろしくお願いします！

リハビリと聞くと、運動を思い浮かべる方が多いと思いますが、私たちは運動に限らず、皆さんに安全で簡単に、楽しく生活して頂くためのお手伝いをしています。そして、何より皆さんとの会話も楽しみにしています。よく笑い、たくさんお話する事も「リハビリ」になります！

研修委員長の北條ヘルパーは、『ヘルパーは、決められた時間の中で、お客様のお宅にある材料を見て、その場でメニューを考え調理します。アンケートの結果を見ても、「限られた材料の中でもお客様に美味しいものを食べていただきたい！」との思いが皆の中に強くあったのだと思います。ヘルパーは一人一人仕事の時間が異なるので、話し合つのも大変でした。慣れないパソコンの打ち込みや、高齢者向けのレシピに改良するなど苦労しましたが、おかげで皆のアイデアが詰まったレシピ本を作ることができました。このレシピ本を活用して、お客様に美味しい料理を提供したいと思います。』と話していました。



研修委員会メンバー

（ヘルパーステーション 石川）

ヘルパー

## 「レシピ本を作りました！」



レシピ本完成♪

わきあい  
 『輪喜愛逢』

デイサービス

## ☆新カラオケ機器到着☆

このたび、デイサービス四恩園のカラオケ機器が新しくなりました！

これまで、とても大きな機械が複数あり、カラオケ室を狭くしていました。しかし、今回新しくなったカラオケは、「コンパクト&スマート」でカラオケ室を快適にしてくれています。最新の曲についても、毎月更新されていきます。これまで以上に、利用できるお客様が多くなり、気持ち良く歌うことができるようになります。カラオケに参加し、声を出すことは、ストレス解消や健康維持のきっかけになると思います。皆様、歌を聴きにくるだけでもかまいませんので、是非新しくなったカラオケ室にいらしてください。お待ちしております♪

(デイサービス 岡崎哲也)



みんなでカラオケ♪



歌いたい曲が盛り沢山♪

さとみ

## 「寒かつた～ね、お花見」

さとみの緑地で桜の花見にお出かけしましたが、あいにくの寒さと風で頭からバスタオルをかぶったり重ね着したりと花見そこそこで帰宅しました。後日リベンジで、ふれあい公園に出来ました。ここではデイホームかたるの一行と一緒にみんなで記念写真を撮影し、公園の散歩もできて満足満足。満開の桜をみながらお茶とおやつを頂く余裕もあり、見事前回のリベンジを果たすことができました。

(デイホームさとみ 及川)



少し寒そ～



さとみとかたるで集合写真

## 感染予防の標語

〈お客様、職員共々安心安全を第一に感染対策に努めましょう〉

感染予防 口だけ参加は やめましょう～自分が基本を守りましょう～（感染対策委員会）

んで頂きたいと思  
います。ご家族の  
方々も、来園した  
際にはぜひ四季の  
会ブルーべリー畑  
にお立ち寄り下さ  
い。



お手入れが大切！！



家族会花壇 今年のデザインはいかがで  
しょう？

# 花々で癒されて……

四恩園に来る方々を花  
じお出迎えしようと、四  
季の会員を口ひこ、バ

「玉屋」でお馴染みの花火で、  
「屋」の由来をご存じでしょうか。

日本に伝来してくるまでには、中国で発明され、鑑賞用の花火は十四世紀後半イタリアのフィレンツエにはじまりました。一六一三年イギリス国王の使者ジョンセリスが駿府城の徳川家康を尋ねた時、持参の花火を見せたという記録が残っていますが、最近になりその数十年前に伊達政宗公が見たという古文書も見つかっています。

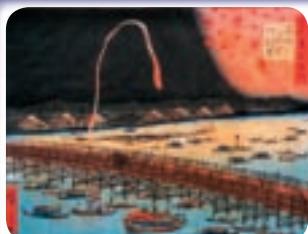
え、この花壇も、四恩園を利用される方々のちよつとした癒しの場所になればと思つています。秋には、「スモスロード」で皆様に楽しんで頂けるよう準備しています。

また、四季の会十周年記念で植樹をしたブルーミス。昨年あたりより沢山

秋には、コスモスロードで皆様に楽しんで頂けるよう準備しています。

また、四季の会十周年記念で植樹したブルーメ。昨年あたりより沢山

年もすでに花が咲き始め  
とそうです。より多くのお  
収穫と採れたての味を楽し



進むにつれ、花火も進化してきました。辛くて悲しいニュースが飛び交う現在、夏の夜空を見上げてみてください。大きく打ち上げられた花火があなたの心を明るくしてくれるのではないでしょうか。

(施設サービス課 河村)

## 安全運転の 標語

# 守りたい　自分の安全　みんなの安全

(交通安全委員会)

# 編集後記

この度の東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。震災の爪跡は、いまだ多くの人の胸に残っていますが、人の生きる力に復興という光を感じる今日この頃です。この機関紙では、日々の明るく楽しいニュースをお届けしていくたいと思いますので、ご意見、ご要望等がございましたらお寄せ下さい。

(ヒルバーフモーション、石川)